

園芸機能開発学特論 I (2単位)

担当者氏名 杉山信男・馬場正・山口正己・雨木若慶

◆学習・教育目標

園芸機能開発学特論Ⅱと表裏一体をなす講義で、とくにⅠでは、(1) 未知の機能を持った遺伝資源の探索とその利用に関する基礎理論、(2) 園芸作物の栄養的嗜好的諸機能に関する最新の情報、(3) 付加価値の高い農産物を消費者に届けるための生理生化学的基礎理論と管理技術、が学べる。

それらの事例を学習する中で、また講義中に行われるディスカッションを通じて、将来広い意味でのアグリビジネスに関わる社会人としての資質を育むことを目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

生理生化学

高付加価値

機能性食品

ポストハーベスト技術

鮮度保持

技術イノベーション

遺伝形質

遺伝資源

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	園芸作物の生理的基礎理論 (第1週～第2週)	園芸作物の生理的基礎理論について紹介する	最先端の研究や技術イノベーションの成功事例について触れる中で、自分の研究を相対化し、その社会的意味について深く考察するのがねらいである。受講前に自分の修士論文のテーマについてまとめておくこと。
2	園芸作物の生化学的基礎理論 (第3週～第4週)	園芸作物の生化学的基礎理論について紹介する	
3	園芸作物の機能性研究 (第5週～第6週)	園芸作物の機能性研究に関する最新情報を紹介する	
4	高付加価値化農産物の開発 (第7週～第10週)	高付加価値化農産物の開発について紹介する	
5	園芸作物の遺伝的基礎理論 (第11週～第12週)	園芸作物の遺伝資源の利用に関する遺伝的基礎理論について紹介する	
6	遺伝形質と育種—果樹品種を中心に (第13週～第15週)	果樹を中心とした遺伝形質と育種について紹介する	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

_____ / _____ / _____ (_____)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

_____ / _____ / _____ (_____)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

毎回、講義中に行う質疑応答やディスカッションなどで総合的に評価する

◆その他受講上の注意事項
